

2021.10.6

竹原市と地域見守りに関する協定を締結

竹原市と「地域見守り活動に関する協定」を結び、今榮敏彦市長と JA 三原の田中義彦組合長が協定書に署名しました。相互が協力した見守り活動を通じ、地域住民の福祉の向上を図ります。

令和 2 年 8 月には、三原市と「地域見守り活動に関する協定」を締結。住み慣れた地域において誰もが安心して暮らし続けることができるよう、竹原市にも申し出て、協定を結ぶこととなりました。

協定締結を機に、JA は、職員に取り組みを周知し、日常業務で高齢者や障害者、子どもらの異変を察知した場合は、すぐに市に連絡するなど協力して対応し、市は、住民に協定を周知すると共に活動の円滑化を支援します。

JA 三原は、令和元年度からの中期 3 ヶ年計画の中で、「JA の総合事業を通じた暮らしの支援と地域活性化への取り組み」を掲げており、農林地帯を中心に過疎化や高齢化が進む中、支店等をベースに見守り活動や買い物弱者対策など、高齢者の生活支援に取り組んでいます。

JA の田中組合長は「組合員の生活を守り、今後も住み続けることのできる地域としての活性化を図るため、竹原市と連携して進めていく」と話しました。

今榮市長は「竹原市においては、生活支援が包括的に提供される地域包括ケアのシステム構築に取り組んでいる。JA との連携は、大変意義深く、これまで以上に地域住民が安心して暮らせるまちづくりに取り組む」と話しました。

